

[経営方針]

[ビジネスの基本スタンス]

インターネットが新しい社会基盤として定着し、社会・企業・個人のすべてが変化する新しい時代を迎えています。富士通グループは、絶えずお客様の視点から真剣に考えソリューション（解決策）を迅速に提案すること、すなわち「カスタマ・フォーカス」を徹底していきます。インターネットを成長の源泉として経営改革を図るお客様に、コンピュータ・通信・電子デバイスの各分野で世界トップレベルの最先端技術を提供し、また、情報システムの開発から運用・保守サービス、さらには新しい事業のパートナーとして、お客様と共に、お客様のビジネスの総合的なソリューションを実現してまいります。

[対処すべき課題と事業戦略]

当社は、1999年6月にグループ全体の事業戦略を「Everything on the Internet」として明確化し、「富士通こそが、インターネット時代をリードする企業グループ」となることをめざし、以下の3つのNo.1をめざしております。

- ・No.1 インターネットソリューション
- ・No.1 インターネットサービスプロバイダ
- ・No.1 インターネットユーザ

本年度は、さらにこの「Everything on the Internet」の基本戦略を進め、以下の2点に注力して具体化していきます。

- ・ブロードバンド・インターネット
いつ、どんな所からでも、高速かつ自由にインターネットを利用できる次世代インターネットを実現するために、最先端の技術で市場をリードし、次世代インターネットインフラの構築に貢献していきます。
- ・お客様との新しい関係
インターネットを活用したソリューションをお客様の基幹業務システムに組み入れていくことで、お客様のビジネスの付加価値を向上させ、共にビジネスを創出してゆくパートナーという関係を築いていきます。この一環として、当社グループのニフティ株式会社が運営する国内最大のインターネットサービスプロバイダ@niftyとの連携を最大限に活用していきます。
当社は日本における最大のソリューション・プロバイダであり、今後は、ICL社、DMR社をはじめとするグループ企業が欧米で築いたビジネス基盤を世界的規模で結び、お客様のビジネスのグローバル展開をワールドワイドにサポートしていきます。

また、本年6月から「The Possibilities Are Infinite」をコーポレート・メッセージとして、日本、米国、欧州、アジアにおいてグローバル・ブランド・キャンペーンを展開しています。最先端のインターネット企業への更なる発展、世界中に展開する富士通グループの価値の向上を図るものであり、グループ全体で“FUJITSU”ブランドを共有してまいります。

今後とも富士通グループ各社を取り巻く経営環境はさらに激しく変化することが予想されますが、引き続きインターネットを機軸とした「選択と集中」による事業構造改革を推進し、成長性と収益性の向上に努めてまいります。併せて経営効率化を推進し、財務体質の強化に注力してまいります。また、地球環境問題を経営上の重要課題としてとらえ、引き続き事業活動のあらゆる面において環境負荷の低減を積極的に推進してまいります。

こうした努力を続けることにより、21世紀においても常に変化を予見し、世界中のお客様から信頼される企業たるべく、自己革新を推進してまいります。

[経営体制の整備等]

昨年 6 月、事業執行単位を社長直属の B U (ビジネスユニット) とし、各 B U に執行権限を委譲するとともに、グループ経営戦略の立案機関として経営戦略会議を新設いたしました。さらに、今後のビジネス環境に対応した体制づくりと事業責任の明確化を目的として、本年 4 月に役員担務の変更を含む組織再編を行い、営業年度の開始とともに新体制でビジネスを進めております。監査体制につきましても、一層の充実強化を図るため、本年 6 月に社外監査役を、1 名増員し、3 名といたしました。

また、既に 1998 年度から企業業績と報酬を連動させた人事制度を導入しておりますが、経営幹部の業績向上に対する意欲や志気の一層の高揚を図り、企業価値の増大を通じて株主のみなさまの利益に資することを目的として、本年度より、取締役全員および経営幹部の一部に対するストックオプション制度を導入いたしました。